



はさみ

はさみ



(左より) 学童用はさみ、和ばさみ、裁ちばさみ、事務用はさみ、デザイン用はさみ (極細タイプ)

概要

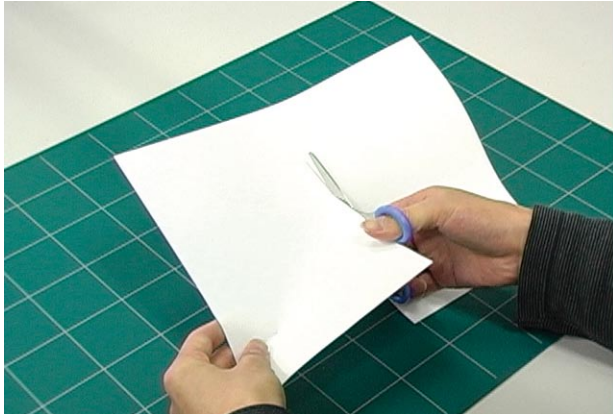
はさみは、主に紙・布・軟質ビニル・皮革などの素材を、上下の刃で挟んで断ち切る(剪断(せんだん)) 道具です。カッターなどの刃物のように刃を押し付けて切断していく道具とは違い、布などの薄くて柔らかな素材から、ある程度の硬さや厚さがあるものまで切ることができ、取り扱いも比較的安全です。

はさみを安全に使うには、身体の正面中央の見下ろした位置で、切り進める方向にはさみを動かすのではなく、対象(紙など)を切りやすい方向に動かして切りましょう。複雑な形態を切るときは、一筆書きのように一度に切るよりも、複数回に分けて切ると良いでしょう。

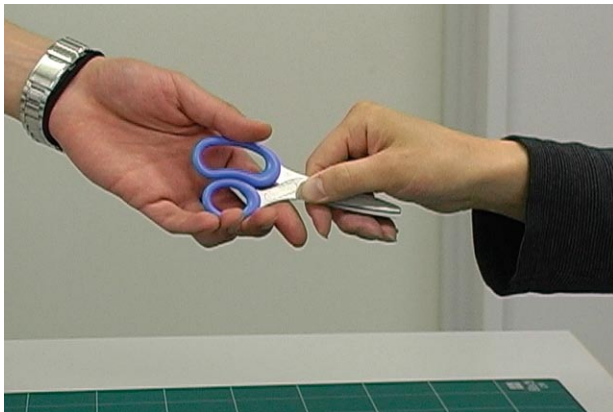
はさみの種類は、切る素材や目的により様々な形状や材質のものがああります。もっとも多く利用されている事務用はさみは、紙を切ることを主としているので取り回しのしやすいサイズで、錆にも強いステンレスなどの鋼材を用いたものが一般的です。最近では軽量で長時間使用しても疲れにくい形状の持ち手のものや、糊などが付着しても簡単に拭き取れるフッ素加工のものなどがあります。また、学童用の工作用のはさみは、安全性を考え刃先がまるく加工されています。布を切るための裁ちばさみは、一般的なはさみより刃が鋭く切れ味がよくなっていて、広い面積を裁断するためサイズも大きくなっています。ちなみに布用の裁ちばさみで紙を切ると、切れ味が落ちるので注意しましょう。その他に、ブリキなどの薄い金属板を切るため刃先の短い独特の形状をした金切りばさみ、金属板やゴム板、プラスチックなどの素材から紙まで何でも切ることができる炭素工具鋼製の万能ばさみ、裁縫に用いられる手のひらサイズの和ばさみ、さらに左利き用のはさみ、切断面が波形になるはさみ、複数の刃で細かく切り刻むことができるシュレッダーばさみなどもあります。

取り扱いの注意として、はさみを人に手渡す場合は、安全のため柄を相手に向けて渡すようにしましょう。また、保管時は刃にカバーを付けるなどすると良いでしょう。一般的なはさみは事務用品店や文房具店で購入できます。また、万能ばさみなど特殊なはさみはDIYショップなどで購入できます。

はさみ 取扱いの基本 (紙を切る場合)

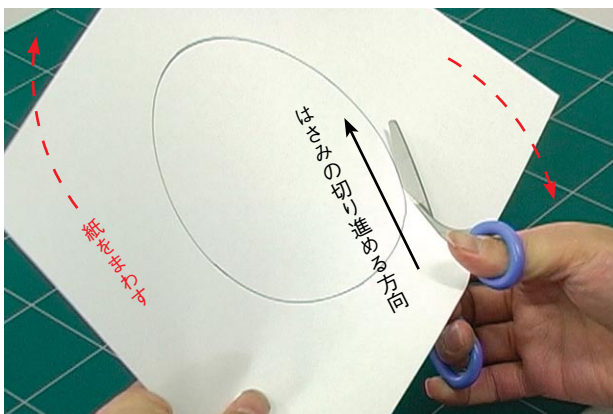


身体の正面中央の見下ろした位置で、切り進める方向にはさみを動かすのではなく、対象(紙など)を切りやすい方向に動かして切りましょう。刃先が閉じきる前に再び刃を開いて切り進めます。



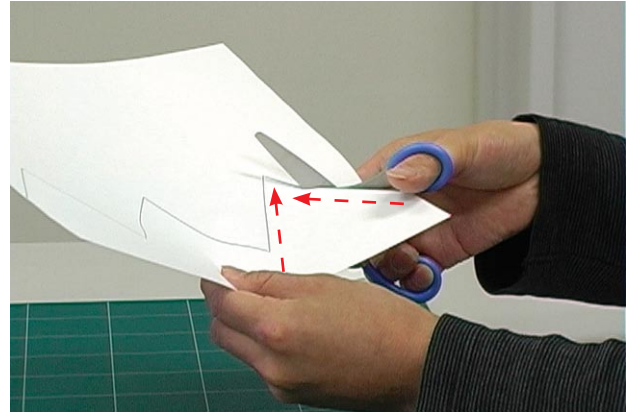
はさみを人に渡すときは、柄の部分に向けて手渡しましょう。

使用例1 円形を切る場合

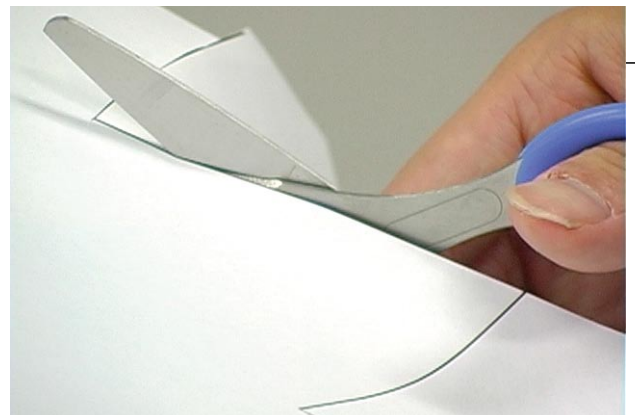


切り始めは、円に沿う角度ではさみを入れます。刃先は円に沿って動かすのではなく、まっすぐ一定方向を保ち、紙をゆっくりと回すことでスムーズに切ることができます。

使用例2 ジグザグに切る場合

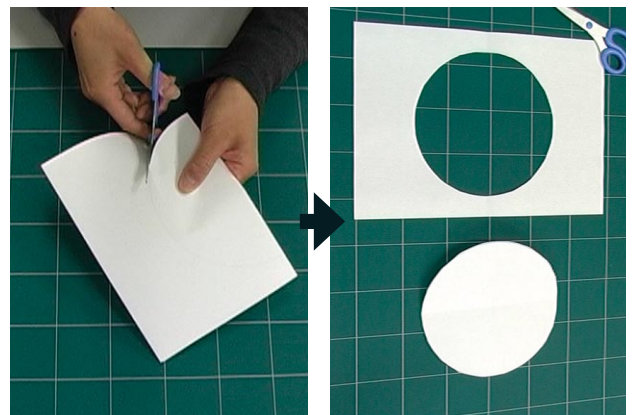


手順1. 折れ曲がった線に沿って切る場合は、一筆書きのように切り進めるのではなく、刃を入れる向きを変えて切っていきます。



手順2. そうすることで、角をきれいに切り抜くことができます。

使用例3 切り抜き・左右対称形に切る場合



紙を半分に折り重ねたまま切ると、形を切り抜いたり、左右対称形をつくることができます。